

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2009-188507(P2009-188507A)

【公開日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2008-23874(P2008-23874)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月4日(2011.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

前記撮像手段によって撮影された画像を表示する表示手段と、

前記撮影された画像を、接続された外部機器に表示させるべく出力する出力手段と、

前記表示手段に表示される画像もしくは前記出力手段で出力される画像の縮小率を操作するズームキーを備えた、外部機器と接続可能な撮像装置であって、

外部機器と接続された場合は、前記ズームキーで操作された画像の縮小率が所定の値より小さいか否かを判断し、前記縮小率が前記所定の値より小さい場合は、前記出力手段で出力される画像は前記縮小率で縮小表示されるよう制御すると共に前記表示手段に表示される画像は縮小表示しないよう制御する制御手段を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記ズームキーにより一定の縮小率を超える縮小操作がされた場合に、前記外部機器に表示される画像に重畳する文字情報を、前記画像の縮小により使用しなくなった表示領域へ表示するよう制御することを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記文字情報は、タイムコード、撮影日時、記録フォーマット、メディア情報及び電池残量を含むことを特徴とする請求項 2 記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、撮像手段と、前記撮像手段によって撮影された画像を表示する表示手段と、前記撮影された画像を、接続された外部機器に表

示させるべく出力する出力手段と、前記表示手段に表示される画像もしくは前記出力手段で出力される画像の縮小率を操作するズームキーを備えた、外部機器と接続可能な撮像装置であって、外部機器と接続された場合は、前記ズームキーで操作された画像の縮小率が所定の値より小さいか否かを判断し、前記縮小率が前記所定の値より小さい場合は、前記出力手段で出力される画像は前記縮小率で縮小表示されるよう制御すると共に前記表示手段に表示される画像は縮小表示しないよう制御する制御手段を有することを特徴とする。